【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和7年1月7日(2025.1.7)

【国際公開番号】WO2023/200018
【出願番号】特願2024-515019(P2024-515019)
【国際特許分類】
G02B 1/14(2015.01)
G02B 5/26(2006.01)
G02B 5/30(2006.01)
G02B 5/08(2006.01)
B32B 27/00(2006.01)
B60J 1/00(2006.01)
B60J 1/02(2006.01)
C03C 17/32(2006.01)
C03C 17/34(2006.01)
【FI】
G02B 1/14
G02B 5/26
G02B 5/30
G02B 5/08 A
B32B 27/00 N
B60J 1/00 H
B60J 1/02 M
C03C 17/32 C
C03C 17/34 A

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月4日(2024.10.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ハードコート層と、波長選択的に光を反射する反射層と、前記反射層の片側に積層されたヒートシール層とをこの順に有し、
前記反射層が、重合性液晶化合物を含む組成物を用いて形成され、
前記ヒートシール層が、熱可塑性樹脂またはエラストマーを含む、反射フィルム。
【請求項２】
前記ヒートシール層が、重合開始剤を含む組成物を用いて形成された層である、請求項１に記載の反射フィルム。
【請求項３】
前記組成物が、さらに重合性化合物を含む、請求項２に記載の反射フィルム。
【請求項４】
前記重合性液晶化合物が、エチレン性不飽和重合性基を有し、
前記重合性化合物が、エチレン性不飽和重合性基を有する、請求項３に記載の反射フィルム。
【請求項５】

ハードコート層と、波長選択的に光を反射する反射層と、偏光変換層と、前記偏光変換層の片側に積層されたヒートシール層とをこの順に有し、
前記偏光変換層が、重合性液晶化合物を含む組成物を用いて形成され、
前記ヒートシール層が、熱可塑性樹脂またはエラストマーを含む、反射フィルム。
【請求項６】
前記ヒートシール層が、重合開始剤を含む組成物を用いて形成された層である、請求項５に記載の反射フィルム。
【請求項７】
前記組成物が、さらに重合性化合物を含む、請求項６に記載の反射フィルム。
【請求項８】
前記重合性化合物の含有量が、前記組成物の固形分に対して、５～８０質量％である、請求項３、４、および、７のいずれか１項に記載の反射フィルム。
【請求項９】
前記重合性化合物のＩ／Ｏ比が０．４以上である、請求項３、４、および、７のいずれか１項に記載の反射フィルム。
【請求項１０】
前記ヒートシール層の２５℃、６０％ＲＨにおける含水率が２．０％以下である、請求項１～７のいずれか１項に記載の反射フィルム。
【請求項１１】
前記ガラス板と、請求項１～７のいずれか１項に記載の前記反射フィルムとが前記ヒートシール層を介して貼り合わされてなる、ウインドシールドガラス。
【請求項１２】
請求項１１に記載の前記ウインドシールドガラスと、前記ウインドシールドガラスの前記反射フィルム側に投映画像光を照射するプロジェクターと、を有する画像表示システム。
【請求項１３】
粘着層と、波長選択的に光を反射する反射層と、ハードコート層とをこの順に有する、反射フィルム。
【請求項１４】
前記粘着層の厚みが１～３０μｍである、請求項１３に記載の反射フィルム。
【請求項１５】
前記ハードコート層の厚みが１μｍ以上である、請求項１３に記載の反射フィルム。
【請求項１６】
前記ハードコート層が、カチオン重合性化合物を含むハードコート層形成用硬化性組成物を用いて形成された層であり、
前記カチオン重合性化合物の含有量が、前記ハードコート層形成用硬化性組成物の全固形分に対して、５質量％以上である、請求項１３に記載の反射フィルム。
【請求項１７】
前記ハードコート層が、無機粒子を含むハードコート層形成用硬化性組成物を用いて形成された層であり、
前記無機粒子の含有量が、前記ハードコート層形成用硬化性組成物の全固形分に対して、０．５質量％以上である、請求項１３に記載の反射フィルム。
【請求項１８】
前記無機粒子の平均一次粒径が４０ｎｍ以上である、請求項１７に記載の反射フィルム。
【請求項１９】
前記無機粒子の平均一次粒径が４０ｎｍ以上２００ｎｍ未満である、請求項１７に記載の反射フィルム。
【請求項２０】
前記ハードコート層の前記反射層側とは反対側の表面における波長２．５μｍ以下の成

分の面粗さＳａ１が０．３０ｎｍ以上である、請求項１３に記載の反射フィルム。
【請求項２１】
前記ハードコート層の前記反射層側とは反対側の表面における波長１０μｍ以上の成分の面粗さＳａ２が２．０ｎｍ以下である、請求項１３に記載の反射フィルム。
【請求項２２】
更に、透明基材を有する、請求項１３に記載の反射フィルム。
【請求項２３】
前記透明基材がセルロースアシレートフィルムである、請求項２２に記載の反射フィルム。
【請求項２４】
位相差層を更に有する、請求項１３に記載の反射フィルム。
【請求項２５】
偏光変換層を更に有し、
前記位相差層、前記反射層、および、前記偏光変換層がこの順に配置されている、請求項２４に記載の反射フィルム。
【請求項２６】
前記粘着層と前記反射層との間に、マット層を更に有する、請求項１３に記載の反射フィルム。
【請求項２７】
前記マット層の前記反射層側とは反対側の表面における波長２．５μｍ以下の成分の面粗さＳａ１が０．３０ｎｍ以上である、請求項２６に記載の反射フィルム。
【請求項２８】
請求項１３～２７のいずれか１項に記載の反射フィルムと、
前記反射フィルムの前記粘着層の前記反射層側とは反対側の面に積層される保護フィルムを有する、積層体。
【請求項２９】
前記反射フィルムと前記保護フィルムの１４０℃における熱収縮率の差が１．５％より小さい、請求項２８に記載の積層体。
【請求項３０】
ガラス板と、請求項１３～２７のいずれか１項に記載の反射フィルムとが前記粘着層を介して貼り合わされてなる、ウインドシールドガラス。
【請求項３１】
請求項３０に記載の前記ウインドシールドガラスと、前記ウインドシールドガラスの前記反射フィルム側に投映画像光を照射するプロジェクターと、を有する画像表示システム。